学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	インテリアデザイン	単位数	４単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

快適な生活を送るために必要な家具等の制作を通して、インテリアのデザインや木工、木材やその他の素材を生かしたデザインや加工を学習します。この授業では、リビングやショップ等、要求された空間に合う家具や照明器具等のデザインを学習します。実際に照明器具や小物等の制作を行い、木材等の基礎的・基本的な加工方法や、安全に配慮した道具の使い方、デザインや設計に沿って加工する技術を身に付けます。
刃物や木工機械を使用します。安全に配慮し、担当の先生の指示をよく聞いて作業を進めるようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
照明器具や家具、調度品ならびに材料や構造等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
照明器具や家具、調度品ならびに材料や構造等に関する課題解決をめざして考えを深めている。基礎的・基本的な技術を基に判断し、独自のデザインを表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
照明器具や家具、調度品ならびに材料や構造等に関心を持っている。作品の製作に向けて意欲的に取り組み、技術を活用しようとする態度を身に付けている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	インテリアを構成する照明器具や家具、調度品ならびに材料や構造等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、技術を適切に活用している。	インテリアを構成する照明器具や家具、調度品ならびに材料や構造等に関する課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、独自のデザインを表現することができる。	インテリアを構成する照明器具や家具、調度品ならびに材料や構造等に関心をもち、作品の製作に向けて意欲的に取り組み、技術を活用しようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	生活空間とデザイン家具	インテリアを構成する部位 生活空間とインテリアデザイン インテリアの役割 照明器具等のデザイン 照明器具等の製作	ａ：生活空間とインテリアの関わり、文化的な特徴、家具や調度品の特徴等に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けようとしている。 ｂ：生活空間とインテリア、文化的な特徴等を踏まえて作品のデザインに反映させている。 ｃ：生活空間とインテリアの関わりや文化的な特徴、木工の特徴等に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	提出物 授業態度 プリント	提出物 授業態度 プリント	提出物 授業態度 プリント
二学期	生活空間とデザイン家具	インテリアの役割 デザイン家具、調度品等の考案 デザイン家具、調度品等の製作 ポートフォリオ制作	ａ：生活空間とインテリアの関わり、文化的な特徴、家具や調度品の特徴等に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けようとしている。 ｂ：生活空間とインテリア、文化的な特徴等を踏まえて作品のデザインに反映させている。 ｃ：生活空間とインテリアの関わりや文化的な特徴、木工の特徴等に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	提出物 授業態度 プリント	提出物 授業態度 プリント	提出物 授業態度 プリント
三学期	生活空間とデザイン家具	デザイン家具、調度品等の製作 プレゼンテーション	ａ：生活空間とインテリアの関わり、文化的な特徴、家具や調度品の特徴等に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、作品製作に活かしている。 ｂ：生活空間とインテリア、文化的な特徴等を踏まえて作品のデザインに反映させて表現できている。 ｃ：生活空間とインテリアの関わりや文化的な特徴、木工の特徴等に関心をもち、意欲的に取り組む態度が身に付けている。	提出物 授業態度 プリント	提出物 授業態度 プリント	提出物 授業態度 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度